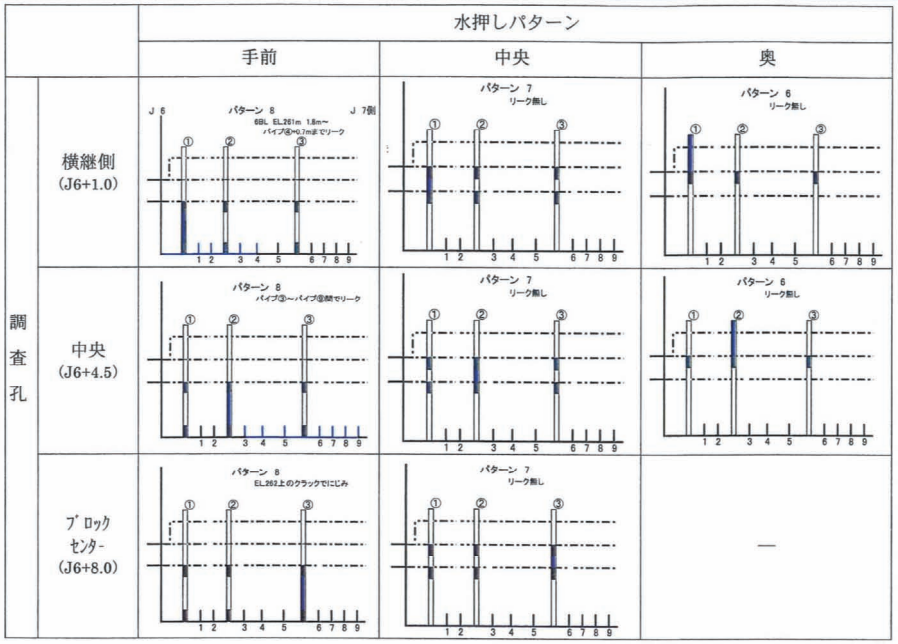
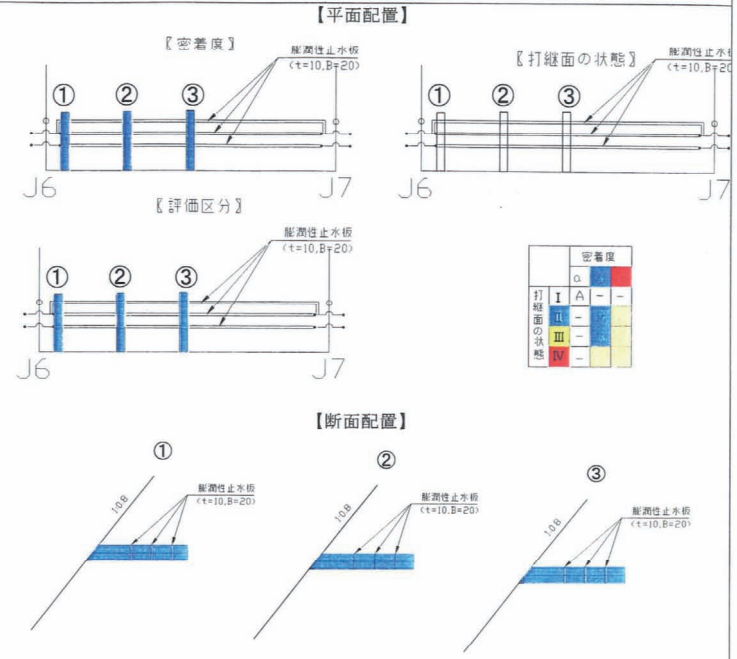
表 2.12　クラック調査カルテ(クラック J6-8　その２)

水押試験結果

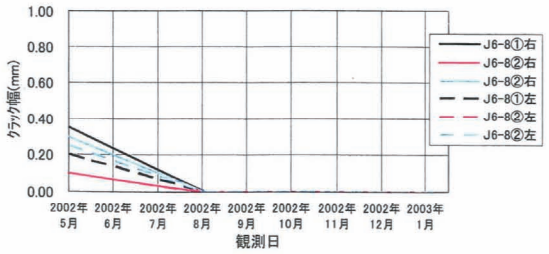


ボーリング調査結果



クラック幅の計測

モニタリング調査結果



ボアホールカメラ観察結果

No.		ボアホール観察値（クラック幅：mm、距離：m）			
		モニタリング調査箇所のクラック幅		クラック幅0.3mm以上の範囲	
		右岸側	左岸側	右岸側	左岸側
J6-8	①	無	0.10	無	無
	②	無	無	無	無
	③	0.20	0.20	無	無

クラック範囲と漏水経路の推定

項目	クラック範囲と漏水経路の推定
調査箇所	・ クラック区分②に相当し、打継間隔 106 日、クラック幅 0.1mm のクラックである。 ・ 水膨張性の水平止水板が 3 列設置されている。
上流面調査結果	・ クラック幅は 0.1mm、クラック長は 15m であった。
クラック範囲の推定	・ クラックの範囲は、いずれのボーリングでもクラックの終端を捕らえることができなかったため、完全に把握することができなかった。 ・ クラックの範囲は、3.0m 以上と止水板より奥に達している。
漏水経路の推定	・ 水押試験結果から、止水板手前、中間、奥のいずれのケースにおいても、継目排水孔からの漏水は認められず、止水板の効果が期待できる。 ・ ボーリング調査結果からクラックはほぼ水平方向に延びていること、水押試験から継目排水孔への漏水がなかったことから、漏水経路は、横継目から止水板に沿って漏水する経路が考えられる。 ・ なお、継目充水試験は実施していない。